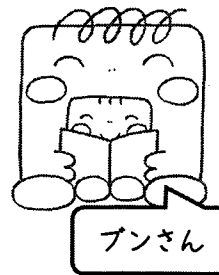


えなとだより

2020年
6月号
No.25



発行：恵那市中央図書館

ウイルスに
負けない！

疫病除け妖怪 大集合!!



天日子尊

新型コロナウイルス(COVID-19)の影響で、不安が広がるなか、
とある妖怪が注目を浴びているのをご存知ですか？



アマビコ

その名は、

アマビエ

京都大学附属図書館が
所蔵する『肥後国海中の怪』
に描かれたアマビエは、
「その姿を写すと疫病除けに
なる」と言い伝えられています。



厚生労働省が、
感染防止
キャンペーン
マスコットに
採用！

たったひとつの文献にしか記録がない
にも関わらず、SNSで大人気！

そんなアマビエたち、疫病除け妖怪について
書かれている本を紹介します。



『水木しげるの妖怪地図
47都道府県ご当地妖怪を訪ねる』
荒俣宏 / 監修
出版：平凡社 分類：388.1 / ア

『ゲゲゲの鬼太郎』の
水木しげる先生が
描いたアマビエが
載っています。

描くと疫病除けになる妖怪は、
アマビエのほかにも！



『津々浦々「お化け」生息マップ
大人が楽しむ地図帳』
宮本幸枝 / 著
出版：技術評論社
分類：388.1 / ミ

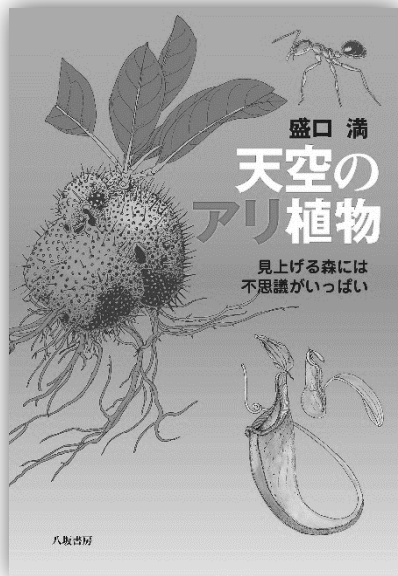


『妖怪あつめ』
湯本高一 / 著
出版：KADOKAWA
分類：388.1 / エ



アリエ

この本読んだ!?



『天空のアリ植物 見上げる森には不思議がいっぱい』

盛口満/著 出版社：八坂書房

分類：462.2/モ

内容紹介

教え子に誘われインドネシアのジャングル探検に出掛けた著者。そこには樹上でアリと共生する不思議なアリ植物など、多様性に満ちた世界が広がっていました。自筆イラストも掲載されています。



市内の高校4校の先生、生徒の
おすすめ本を月替わりで紹介します。
今月は「恵那農業高等学校」です。

『ツナグ』

辻村深月/著

出版社：新潮社 分類：913.6/ツ



内容紹介

「ツナグ」という本は、一生にたった一度だけ、死者との再会を叶えてくれるという物語です。使者（ツナグ）という男の子が、死者との間に立って仲介をしてくれます。自分の失ったものを取り戻し、生きるために会いに行きますが、その一つ一つの物語が、とてもいい話で、心にしみるのです。